



～ 2017年、再び両国にあの熱狂がやってくる～

WWE日本公演「WWE Live Japan」開催決定!!

スポーツの激しさとドラマのストーリー展開を兼ね備えたエンターテインメントを世界規模でビジネス展開する「WWE」(会長兼CEO:ビンス・マクマホン/本社:アメリカ・コネチカット州スタンフォード)は、2017年のWWE日本公演「WWE Live Japan」を6月30日(金)、7月1日(土)の両日、東京・両国国技館で開催することを決定いたしました。チケット発売の詳細・追加情報は3月の発表を予定しております。

また、日本公演決定にあわせて「WWE日本公演特設サイト」を開設いたしました。WWE日本公演の最新情報は、同特設サイト、WWE日本語公式サイト、WWEモバイル、ツイッター、facebookなどで決定次第順次ご案内いたします。

2017年もWWE日本公演「WWE Live Japan」にご期待ください!

2017年WWE日本公演 概要

- イベント名称 : WWE Live Japan (ダブリューダブリューイー ライブ ジャパン)
- 開催日 : 2017年 6月 30日(金)、7月 1日(土)
- 会場 : 東京・両国国技館 (東京都墨田区横綱1-3-28)

WWE日本公演特設サイト: <http://www.wwe.co.jp/wwelive/>

ツイッター用ハッシュタグ: #WWETokyo

<2016年開催のWWE日本公演「WWE Live Japan」から>



「WWE」の最新情報は、日本語公式WEBサイト/WWEモバイル/ツイッター/Facebook/WWEネットワーク/WWE Live Japan特設サイトで!



<http://www.wwe.co.jp>



<http://m.wwe.co.jp>

メニューリスト > スポーツ > 格闘技
 カテゴリーで探す > スポーツ > 格闘技
 メニューリスト > スポーツ > 格闘技



@WWEJapan
をフォロー



「WWE Japan」
で検索



<http://network.wwe.com>



<http://www.wwe.co.jp/wwelive>

「WWE」とは？

「WWE」は、日本をはじめ地球上の何千万人もファンを熱狂させるハリウッド顔負けの究極のエンターテインメント。WWEの魅力は海外ドラマさながらの劇的なストーリー展開。様々なキャラクターのスーパーstarやディーバたちが登場、抗争・対立を繰り広げる。これらの抗争は迫力のアクションと奇想天外な演出で行われる試合を通して、さらに発展していく。『ロウ』『スマックダウン』などレギュラー番組で勃発するこれらのストーリーは、年12回のPPV大会で決着すると同時にそこから新たなストーリーが始まる。またWWEネットワークでは、看板番組として台頭している『NXT』とクルーザー級に特化した番組『205 Live』を放送。その独自の路線が高く評価され、世界各国から個性豊かなスーパーstarが続々と参戦。WWEは年間を通して目を離せない、ノンストップエンターテインメント！

- 1999年 NY証券市場上場(証券コード:WWE)
時価総額:13.7億USD(約1,575億円)以上 (2016年3月現在)
- 映画制作部門「WWEスタジオ」はコリン・ファレル主演「DEAD MAN DOWN」、ハル・ベリー主演「THE CALL」、北村龍平監督「No One Lives」など数々の作品を生み出している。2015年にワーナーブラザーズと人気アニメ「The Flintstones」の長編制作を決定した。
- 全世界で年間320回以上のライブイベントを開催
- WWEのTV番組を毎週全米1400万人(内500万人が女性)が視聴
- 世界170カ国以上の国々、35以上の言語で放送中
- 2012年までの28年間でPPV(ペイ・パー・ビュー)放送の総収入が20億USD(約2300億円)を超える
- 公式ホームページ(WWE.com)へ毎月1240万のユニークビジター
- 世界200社以上とライセンス商品契約、売上は2010年に年間で10億USD(約1150億円)を記録

※ US\$1.00=¥115で算出



2016年4月に開催された「レッスルマニア32」は、テキサス州アーリントンのAT&Tスタジアムに10万1763人の大観衆を集め、WWE史上最多観客動員数を記録した。

過去のWWE日本公演(一部)

・2016年7月1日、2日「WWE Live Japan」両国国技館

2016年のWWE Live Jpanaは同年NXTにて鮮烈のデビューを果たした中邑真輔、NXT女子王者アスカが凱旋し、ジョン・シナ、セス・ロリンズ、ディーン・アンブローズ、AJスタイルズなどスーパーstarが大熱戦を繰り広げ、観衆を魅了しました。



・2015年7月3日、4日「WWE LIVE」両国国技館

WWEの殿堂入りを果たした藤波辰爾氏、残念ながら負傷欠場となってしまったイタミ・ヒデオがリングに上っただけでなく、ブロック・レスナーが登場(4日のみ)。WWEネットワークの全世界中継も行われた歴史的な公演となりました。



・2014年7月10日11日 両国国技館、7月12日「WWE LIVE」舞洲アリーナ

両国2Dayに加え、約10年ぶりに大阪上陸。初来日のワイアットファミリーやジョン・シナ、ロマン・レインズ、セス・ロリンズなどが熱戦を展開し、会場を盛り上げました。また大阪公演にはKENTAがWWEのリングで契約書に署名して、正式にWWEの一員となりました。



【報道関係者様 お問い合わせ先】

WWE Japan/東京都渋谷区道玄坂1-19-12 道玄坂今井ビル3F TEL.03-5456-6052/FAX.03-5456-3161
担当・徳升(090-2489-1857/Hiroomi.Tokumasu@wwecorp.com)
TRYPOD/担当・杉本(090-2683-4044/sugimoto@trypod.jp)